

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 4 年 3 月 22 日

事業所名 もくせいクラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	7	スペースはまだあった方がよいと思いますが、外の活動などを入れながら工夫しています。個室が無い為、目隠し等を利用しています。	もう少し部屋が広くて部屋数も多いと、活動や支援の幅が広がるのではないかと思います。
	2	職員の配置数は適切である	11	0	人員配置基準は満たしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	1	日々のミーティングにて意見を出し合っており、振り返り、反省点を挙げています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1		保護者の意向等を把握し、改善策は出していますが、不十分な点もあります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1	学園通信やホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1	法人内研修や、福祉協会等が実施するオンライン研修等に参加しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0		アセスメントはとっていますが、まだ改善が必要と思います。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0	独自のアセスメント表を使用して聞き取りを行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	3	正規職員で、本人の様子や意見を出し合い、それを元に立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	9つの教室に加え、ウォーキング、公園遊び、調理療法や季節ごとの行事を行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	0	不十分な所はあると思いますが、長期休暇前には全職員で細かな部分は確認しています。活動前には日々ミーティング内で行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	少人数の教室活動参加に加え、集団活動も個別に応じて行っています。今後も改善を加えながら作成していきます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	日々のミーティングにて必ず行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	3	全職員という形は取れませんが、数名の職員でその日の振り返りを行ったり、翌日ミーティングで話し合っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	記録は毎日必ずとっています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	サービス等利用計画のモニタリングを含めて行っています。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	10	1	季節ごとの行事を行い、家庭でも学校でも経験できない事と思いい日々活動しています。	
--	----	---------------------------------	----	---	--	--

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	児童発達支援管理責任者に加え、日々支援している児童指導員も参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	1	送迎時、担任の先生との連絡調整、毎週の時間割や文書を確認しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	2		医療的ケア児の利用はなく、整備は整っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	0	法人内の児童発達支援事業所を利用している子どもが多いため、利用前に情報交換の話し合いを行い適宜相談しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	0	障害福祉サービス事業所へ移行する場合は、必ず引き継ぎの話し合いを行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1	発達障がい者支援センターを利用している子どもに関しては、モニタリング等に参加いただき、助言を頂いています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	7		コロナの為、人の集まる場所は避けています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	3	放課後等デイサービス事業所連絡会があり、協議や研修に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	送迎の際には、保護者と一日の様子を伝え顔を見合わせて話をするようにしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	3		モニタリング等で保護者と話しますが、トレーニングというところまではできていません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	利用契約時に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1	適切な対応とは言い切れませんが、相談があった際はきちんと話を聞いています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	6		まずは、義務教育の学校のPTA活動優先と考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1		苦情があった場合は迅速に対応するようにしていますが、周知するような内容であれば周知していきたいと思います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	毎月おたよりを発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	11	0	守秘義務の事は職員に伝えていますが、個人の資料等は漏れないように管理しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1	時には、文字や文書・イラストを用いて伝達できるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	5		コロナの為、あまりできていません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	1		災害マニュアルは策定済みではありますが、感染症対応マニュアルは策定できていません。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	毎月、地震・津波を想定した避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	年一回全職員が法人内の虐待防止研修を受けるようにしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11	0	車椅子の転落防止用のベルトを使用する場合等、保護者に伝え承りいただいています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	0	アレルギーや服薬による禁止食に関しては、しっかり把握し、提供を避けています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	2		ヒヤリ・ハットつづりを作ってはいますが、ヒヤリ・ハットに気付く視点では、まだまだ意識の向上が必要と思っています。